

生き活き 木島平

No. 558

みんなで楽しみをつくりだす村

「自然と文化を守る 人と地域をつなげる」

七輪で土器や土偶をつくれるか

「ふるさと資料館実験講座が開催されました」



10月15日、参加者15人を迎え、ふるさと資料館実験講座が行われました。

ほとんどの参加者は初めての体験でしたが、見本を見ながら、思い思いの作品作りに励みました。

乾燥の合間の資料館見学では、3000年以上前の土器に触れながら当時の様子を聞いて、参加者から驚きの声が上がりました。また、焼きに入ると七輪の底から吹き上がる

炎で、みるみる色が変わっていく土器に見入っていました。

焼きあがると参加者から「叩いた音がとってもきれいだ」「ガラスの音みたい」「最初と全然色が変わっちゃって、不思議！」「金属みたいに滑らか」と貴重な感想が聞かれました。

解散の後、自分の土器を大切に持ち帰る参加者の姿が印象的でした。



制作に励む参加者



土偶へ飾りをつける様子



七輪で余熱

焼き締め

冷めるのを楽しみに待つ参加者

第17回 みゆき野の風景画展

～「心のふるさと」みゆき野の風景をご覧ください～

『山里や自然に親しみ、この地の趣を風景画に残していただきたい』という願いを持って始めてから17回目となります。大勢の皆さんのお越しをお待ちしています。また、来館者の投票で決定する中町展示館賞にもぜひご協力ください。

- 11月12日(土)～12月10日(土) (火・木休館)
- 午前10時～午後4時
- 木島平村中町展示館(木島平村上木島680-1)



昨年度の木島平村長賞「家路(小林秀里)」

木島平
検定!

きじま平再発見 ～木島平検定に挑戦しよう～

No.39

問82

和栗古墳は石室がむき出しになった古墳ですが、ここから鉄剣などが発見されました。さて、この古墳はいつ頃造られたと考えられているでしょう。

- (① 2世紀頃 ② 4世紀頃 ③ 6世紀頃 ④ 8世紀頃)

問83

下高井農林高校の玄関前のロータリーには、校歌を刻んだ石碑が置かれています。さて、ここに刻まれている校歌を作詞した人は、次の誰でしょう。

- (① 島崎藤村 ② 中山晋平 ③ 山口菊十郎 ④ 高野辰之)

解答は、35ページにあります

発行：木島平村公民館

編集：公民館報編集委員会

住所：長野県下高井郡

木島平村大字上木島1762

TEL：0269 (82) 2041

FAX：0269 (82) 4020

E-mail:

kouminkan@vill.kijimadaira.lg.jp

第43回 木島平村民祭

～ 咲かそう 自分らしさ
響かそう みんなの思い ～

コロナ禍のため、今年も作品展示は中町展示館にて、また芸能発表はふう太ネットによるテレビ放送で行いました。
多くの皆様にご協力いただき、素晴らしい作品展示と芸能発表になりました。



芸能発表の収録にご協力をいただいた皆さん



- 6. ハートフル・アンサンブル
ビート ハーツ
- 7. Beat ☆ Hearts
ブア キエレ
- 8. Pua Kiele
リズム ム
- 9. RI・ZU・MU

- 1. 飯山高校ダンス同好会ノヴァ
- 2. 木島平合唱団
- 3. 佐治 到 一口語り「京都東山」
- 4. HERO'Sネクストチーム
ヒーローズ
- 5. HERO'Sネオチーム
ヒーローズ



第45回 長野県スキー大会週間組織委員会



10月4日(火)、来年1月16日(月)から22日(日)まで本村(クロスカントリー競技・ジャンプ競技)と山ノ内町(アルペン競技)で開催が計画されている「第45回長野県スキー大会週間」の組織委員会(組織委員長 長野県スキー連盟専務理事 河野政巳)が、若者センターで開催されました。

会議には、長野県スキー連盟の他、両町村のスキークラブ、観光関連団体、長野県高等学校体育連盟、長野県中学校体育連盟などから45名が出席し、競技会場、競技スケジュール、協定宿泊料金、リフト券代等、基本事項について協議が行われました。木島平村の大会本部は、教育委員会生涯学習課です。



多くの関係者が一同に会した組織委員会



長野県スキー連盟大谷副会長あいさつ



日基村長あいさつ



人権副読本『あけぼの』は、人権学習の副読本として作成され、主に長野県内の小中学校を中心に、特別支援学校、社会教育等において広く活用されています。部落差別問題を中心に、さまざまな人権課題を盛り込み、人としての生き方を問いかける内容を目指して、これまで改訂が重ねられてきました。

9月2日に開催された「第2回社会人権同和教育研修講座」では、今回、この副読本『あけぼの』の改訂に取組まれた長野県同和教育推進協議会事務局長の清水稔さんを講師に迎えて、改訂に寄せた「願い」と「大切にしたいこと」等をお話しいただくとともに、部落差別をはじめとするさまざまな人権課題の現状について講演をいただきました。

2020年度から本格実施となった学習指導要領には、前文に「一人ひとりの児童生徒が、自分のよさや可能性を認識するとともに、あらゆる他者を価値ある存在として尊重し、多様な人びとと共同しながらさまざまな社会的変化を乗り越え、豊かな人生を切り開き、持続可能な社会の創り手となること」が求め

人権副読本 『あけぼの』改訂の 趣旨と願い 第1回



今回、改訂された副読本『あけぼの』(6訂版)

られている」と示されています。

今回の改訂の背景として、まず第一に、インターネットや新型コロナウイルス感染症に係る人権侵害をはじめとして、さまざまな人権課題が発生している現状があげられます。これらの人権課題に対して、子どもたちが、『あけぼの』の活用を通して「正しい認識を持ち、自分の問題であることに気づき、差別をなくす意欲と実践力を育成することをお願い」としています。

講師の清水さんからは、このような願いに立つて改訂された『あけぼの』に収録されている一つひとつの資料について、改訂現場の願いと工夫、そして活用する際の留意点等をお話しいただきました。

次回は、清水さんのお話を基に、資料に込められた願いとともに「活用する際、大切にすること」等を、紹介させていただきます。

人権推進室 山屋秀夫



図書館だより

今月の一冊

公民館図書委員(ちっちな図書館) 芳川 桃

表紙を見て、なんだこれはと本を手放すのをちょっと待ってほしい。衣装も内容も、本気で真面目に研究したノンフィクションの昆虫(バッタ)アフリカ奮闘記なのです。

著者の前野さんは幼いころに読んだファーブル昆虫記に魅せられ昆虫学者となり、バッタアレルギーを発症しても研究をやめず、停滞していた研究の逆転を狙って、現地の言葉もわからずアフリカのモーリタニアへ飛び込みました。

アフリカでバッタの大発生は大きな問題となっており、東アフリカなどで猛威をふるう「サバクトビバッタ」は農作物に大変な被害を与えています。大発生した様子は「黒い雲のように不気味に蛇行しながら移動していた」と著者はあまりの大群に圧倒されたそうです。

現地に着いてすぐにバッタ研究・・・と思いきや言葉の壁にぶつかり、さらに大干ばつでバッタどころではなくなるなど、現地の様子や研究者としての悪戦苦闘があらま書かれています。実際に裏表紙の衣装でバッタの大群に飛び込んでいますが、これも遊びではなく群れの動きを予測するためにおこなっているとか。研究はまだまだ続きます。

『バッタを倒しにアフリカへ』

著:前野ウルト浩太郎



★新着図書★

素数とバレーボール(平岡陽明) 若葉荘の暮らし(畑野智美) 夜の道標(芦沢央) ギフテッド(鈴木涼美) あこがれ(瀬戸内寂聴) シャドウワーク(佐野広美) おいしい絵本レシピ(野口真紀) SNS別最新著作権入門(井上拓) 日本一の洗濯屋が教える間違いだらけの洗濯術(洗濯ブラザーズ) めか床づくり(下田敏子) 語学の天才まで1億光年(高野秀行) 長野県の火山入門(竹下欣宏) 茶箱あそび、つれづれ(ふくいひろこ) イスタンブールで青に溺れる(横道誠) らくご植物園(相羽秋夫) のんびり読んで、すんなり身につくいちばんやさしい短歌(横山未来子)

★児童図書★

ぴーぴーぱっくしまーす(片山健) はたけの絵本(いわむらかずお) 香君(上橋菜穂子) かずもう(もとしたいづみ・かとうまふみ) こどもに聞かせる一日一話(福音館書店「母の友」編集部)

■ 休館のお知らせ ■

図書館内の蔵書点検をおこなうため、毎月最終火曜日は休館します。
ご迷惑をおかけしますが、ご理解とご協力をお願いします。

今月の点検休館日

11月29日(火)

ちっちな図書館

往郷911-7若者センター内 ☎82-3111(内線206) 月曜日休館
開館時間・平日9時～17時45分／土日祝8時30分～17時15分



きじま平再発見 ～木島平検定に挑戦しよう～ 解答編

問82

③ 6世紀頃

古墳の元の形は円墳と考えられ、円墳は6世紀ごろ盛んに造られていました。石室はむき出しでしたが、3本の直刀や勾玉や管玉などが出土しました。

㊦ 積石の 県最北や 和栗古墳



問83

④ 高野辰之

この校歌を作曲した人は岡野貞一でした。また、この2人が作詞・作曲した歌には有名な「故郷」や「おぼろ月夜」などたくさんの唱歌があります。





障がい者 希望の旅 じよんのび

障がい者 希望の旅「じよんのび」を11月5日開催しました。今年度は、3年ぶりに村外での活動を計画、実施しました。新型コロナウイルス感染症の影響を考慮し、例年と比べると参加人数を抑えた形で実施しています。

お食事では副村長、社協会長を囲み、旬の食事を楽しみ、入浴では大きな湯船に肩まで浸かって、しっかり体を温め、心も体も「じよんのび」していただきました。帰りには、10月にリニューアルオープンした道の駅「花の駅 千曲川」に立ち寄り、買い物を楽しんでいただきました。

来年度には、本来の形で開催ができ、大勢の参加者で賑やかに実施できることを願います。

ご参加いただいた皆様ありがとうございました。



村 老連ゲートボール大会開催

10月13日に中央グラウンド屋内運動場を会場にゲートボール大会が開催されました。

出場チームは全5チーム、総勢25名の選手が優勝を目指し、白熱したゲームを展開しました。

- 👑 **優勝** 市老チーム
- ★ **準優勝** みずほチーム
- ★ **3 位** 高石チーム



この社協だよりは共同募金の配分金で発行されています。



社協だより

No.346

さわやか笑顔さん



じよんのび参加者

- 小林 芳明さん
(南 鴨)
- 山崎 かづみさん
(池の平)
- 森 隆さん
(中 町)

天気が良く、紅葉を楽しみながら出かけることができました。
おいしい料理と広い湯舟を堪能し、じよんのびができました。

発行：社会福祉法人
木島平村社会福祉協議会
住所：木島平村大字往郷 908-3
TEL：0269(82)4888
社協ホームページ
<https://sites.google.com/view/kijima-syakyoo/>

安心買い物ツアー

住民の「自分の目で見て買い物できるサービスが欲しい」の声に、民生児童委員協議会(寄り添って行こう会)の皆さんと社会福祉協議会とで買い物支援に取り組んでいます。

今年度は、定期開催を実施し、今回3回目のツアーを開催いたしました。場所は、A・コープみゆき店とし、4名の方から申し込みをいただきました。参加された住民からは「買い物ツアーを楽しみにしている。この機会を利用して自分好みの物が揃えられ、感謝している」との声をいただいています。

これからも、民生児童委員(寄り添って行こう会)の皆さんと一緒に多くの方の安心につながる企画を考えていきたいと思っています。



手厚いサポートで安心して出掛けられます

慣れない購入品も相談すれば安心して購入できます

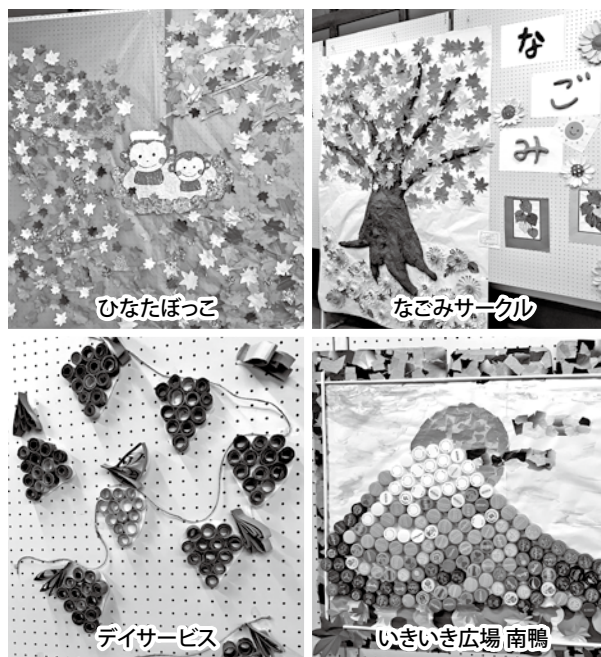
事前に購入リストを作っています

複雑な会計も安心してこなせます

村民祭作品展示

中町展示館を会場に村民祭作品展示が行われ、社会福祉協議会からは、いきいき広場、なごみサークル(ミニデイサービス)、ひなたぼっこ、デイサービスの各事業所から作品を出展しました。

どの作品も見事な仕上がりで、会場をにぎやかに彩りました。



赤い羽根共同募金



10月1日から実施しております赤い羽根共同募金に、あたたかいご協力をいただきありがとうございます。

10月31日現在、1,031,934円のご協力をいただきました。

12月末まで募金を受付けておりますので、引き続きご協力をお願いします。

(中間報告)

募金方法	件数	金額
戸別募金	895件	864,470円
事業者募金	39社	154,000円
職域募金	1社	10,600円
募金箱他	1件	2,864円
合計		1,031,934円

社協の予定 11/15~12/31

11/16(水) ○ふれあいランチ

12/7(水) ○心配ごと相談(相談員・・・人権擁護委員)

12/14(水) ○ふれあいランチ

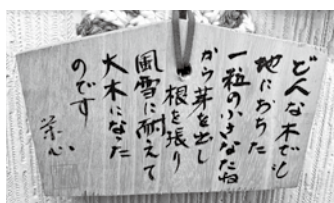
○無料法律相談 <予約制>

天然寺法律事務所 齊藤善隆弁護士

12/21(水) ○ふれあいランチ

新型コロナウイルスの影響により、予定を変更する場合があります。ご理解とご協力をお願い致します。

つばやきコーナー



どんな木でも 地におちた一粒の
小さな木から根を出し
根を張り 風雪に耐えて
大木になったのです

あたたかい善意

衣類、食材などのご寄付をいただきました。皆さまからのご厚意に感謝いたします。



人の動き

11月掲載承諾分

※氏名の一部に常用漢字を使用・敬称略で記載

こんにちは赤ちゃん

誕生日	集 落	氏 名	父・母
9.27	山 口	原田 いすづ	(峻佑・早紀)

ごめいふくをお祈りします

亡くなられた日	集 落	氏 名	年 齢
9.30	中 村	宮崎とみ子	(59)
9.30	柳久保	勝山 泰明	(83)
10.1	中 村	小林 和子	(88)
10.2	スキー場	小室 春樹	(69)
10.5	北 鴨	芳川 修二	(69)
10.7	中 町	森 和茂	(92)
10.9	西小路	佐藤 若枝	(89)
10.20	和 栗	藤澤 博幸	(47)
10.29	柳久保	高山 芳江	(93)

すずな 柰津 鈴風 ちゃん

令和2年7月18日生まれ

(西町区 / 博直さん・智美さん)



アンパンマンがとにかく好きで、音楽に合わせてノリノリで踊る鈴風ちゃん。
一人でいろんなことができるようにチャレンジ中です。

2歳くらいのお子さんを大募集！掲載されたご家庭には、ふう太ネットでの放送を収録したDVDまたはBDのどちらか1枚と広報誌3冊をプレゼントします。詳しくは政策情報係(内線114)までご連絡ください！

広報・村公式ウェブサイトの広告募集中

広報きじま平、村公式ウェブサイトへ掲載する広告を随時募集しています。

詳しくは政策情報係までお問合せください。

～暮らしに役立つ広告をお待ちしています～

世帯と人口

11月1日現在

(令和2年国勢調査に基づく推計値)



1,533 (-4)



2,057 (-5)



2,167 (-3)



4,224 (-8)

コロナ感染

村長ひとこと(86)

新型コロナウイルス第7波が収まり切らないうちに第8波の兆しが出てきました。ワクチン接種が進み重症化のリスクが減ったとは言え油断はできません。移動制限が少なく、人の動きが活発になっています。全国旅行支援などで有名観光地はかなり混雑しています。周辺でもイベントや懇親の機会が増えました。これまでに以上に自己管理が大事です。

そう言いながら私も感染してしまいました。家族が陽性になったため隔離し、家庭内でもマスクをし、できるだけ家族でも接触しないようにしていましたが見えない敵は手強い。一人目から二人目、日時を置いて広がり三人目は私でした。家庭内での感染防止対策は難しい。特に小さいお子さんがいる家では大変だろなとつくづく思いました。

隣国では雑踏の中で多くの若者が圧死するという悲劇が起きました。新型コロナウイルスへの恐怖がピークの頃であれば失われるはずのない命であり残念ですが、溜まったストレス発散が原因とすれば、やはりコロナの犠牲者と言えるかもしれません。

この原稿は、自宅療養中に書いています。今のところ大した症状はありませんが、65歳ということで保健所への届け出対象者になり、療養は1週間になります。第8波のピークは11月下旬から12月にかけてと予想され、村ではオミクロン対応のワクチン接種を進めています。間もなく4年目になりますが、その先は分かりません。恐れながらも、恐れすぎないウィズコロナの生き方が必要です。

木島平村長 日暮 正博



きじま平

◆令和4年 11月15日(毎月1回発行)

◆株式会社 日美印刷

◆発行/木島平村 〒389-2392 長野県下高井郡木島平村大字往郷 914 番地 6 ☎0269 (82) 3111

木島平村公式ウェブサイト 自然劇場きじま平 <http://www.vill.kijimadaira.lg.jp/>